

出前花育教室（フラワーアレンジメント教室・生け花教室）作業要領

富山フラワーネットワーク

□対象者・人数： 年長児及び小・中学生

□所要時間： 約60分程度

□指導者・アシスタント人数： 指導者1～2名・アシスタント若干名

※指導者として当ネットワークより専門講師を派遣しますが、アシスタントとして先生や保育士の方にサポートをお願いします。アシスタントは、年長児の場合は5人に1人、小学生の場合は10人に1人程度の配置をお願いします。

□準備していただくもの： 新聞紙（机の上に敷きます）

ハサミ（工作用でも大丈夫です）

□講師が準備するもの： 花材（季節の花をご用意します）

吸水スポンジ（※いけばな教室で剣山は使用しません）

*希望のある場合のために切花用ハサミ（50丁）は用意してあります

□アンケートの実施について：教室開催後、担当の先生や保育士、体験した生徒の保護者に対して簡単なアンケートを実施します。

※アンケート回収に際し、担当の先生や保育士の方のご協力をお願いします。また、保護者アンケートは一部の教室にて実施いたしますので該当の方には個別にご連絡いたします。

【当日の流れ】

① 準備

- ・机の上に新聞紙を敷きます。
- ・ハサミや花器（吸水スポンジ入り）を用意します。
- ・バケツに水を入れて、花材を並べます。

② 花の名前や特徴を説明

- ・花も動物などと同じように生きている等の「命の大切さ」や、使用する花の特徴（県産花きの場合は産地等）など、指導者が季節の花を説明します。

③ 花の切り方を説明

- ・右利きの場合は、左手で花を、右手で花を持ちます（左利きの場合は、逆になります）。
- ・右利きの場合、花の顔〔咲いている方〕を左向きに横にして置くと、持ちやすく切りやすくなります（左利きの場合は、逆に置きます）。
- ・花（茎）を切るときは、葉と葉の間の茎の部分を、水がたくさん吸収できるように斜めに切ります。このときハサミは、花を持っている手と反対側に向けて切ると安全です。

●茎が太い花は、普通のハサミでは上手に切れません。
アシスタントの方には切花用ハサミを用意しますので、
切りにくい場合は、サポートをお願いします。



④ 花の挿し方を説明

- ・花器に対してどの位の長さで切るのか説明します。
- ・吸水スポンジの挿し方を説明します。
→茎をしっかり持ち、中心に向かって2cmくらい挿します。
- ・吸水スポンジに挿さる部分の葉は挿す前に取り除きます。
※葉が水に浸かっていると、水がにごったり腐りやすくなります。

⑤ 花育体験開始

- ・④～⑤の事に気をつけながら、自由に楽しんでもらいます。

●吸水スポンジは、強く触ったり、何度も差し直したりすると穴だらけになって崩れてしまいます。アシスタントの方には、子供達が完成まで楽しめるよう注意をお願いします。



⑥ 片付け

- ・終わった子供達から、机の上、床のゴミを片付けます。

●ゴミ箱に捨てる時は花の茎・枝等をなるべく短くして捨ててください。ゴミ箱から茎が飛び出て、ケガをしたりすることがありますので、注意をお願いします。

⑦ お手入れの方法を説明

- ・作製した作品は進呈いたします。
- ・作品を長く楽しんでいただくために、自宅でのお手入れの仕方を説明します。

★お手入れの仕方

- ・置き場所…風が直接当たる場所（エアコンの温風・冷風に注意）、直射日光が当たる場所には置かないで下さい。花は、温度の低いところの方が長く楽しめますので、なるべく涼しい場所に置いて下さい。
- ・水のやりかた…花を挿したスポンジの乾き具合や器の底の水位をみて、必要だと思ったら足して下さい。水を足すときには、花の上からではなく、器の縁からこぼれないように足して下さい。※水替えはせずに、足すだけで大丈夫です。
- ・花が痛んできたら…痛んだ花をそのままにしておくと、全体が枯れてしまうこともあります。痛んだ部分だけを取り除く、またはその花だけをそっと引き抜いて下さい。

⑧ アンケート実施の説明

- ・当ネットワークから簡単なアンケートを実施します。
- ※アンケート回収に際し、担当の先生や保育士の方のご協力をお願いします。